

所信表明

2024.4.8

4月2日（火）9時になった。第1回職員会議が始まった。まずは、園長からである。これが、小学校、中学校、高等学校ならば校長となる。先生方は何を期待しているのだろうか。どんな話を聞きたいのだろうか。話でも文章でも相手意識が重要である。

その一方で、園長や校長として伝えたいことは何か。あれもこれもと網羅的に話すよりも、中身は絞った方がよい。全て伝えましたよというのは、話す方の自己満足でしかない。とはいえ、絞るのは簡単なことではない。いろいろ考えたが、経営3か条、縁を生かす、思いやり、教育の質の向上に絞り込んだ。ワンペーパーにまとめた。これでも多いのかもしれない。「幼稚園教育要領解説」を読んだ。一夜漬けのようなものである。この内容には、あえて触れずに、自分の思いや願いを伝えた。

ベースになったのは、今までの経験である。初めての校長職は、小学校だった。最初の職員会議での資料を改めて見てみた。これではだめである。明らかに力量不足だった。先生方には、申し訳なかった。校長になる前は、自分の理想とする学校像や校長像を考えていたはずである。ところが、いざその立場になると、具体性をもたせることができない。覚悟が足りなかったのかもしれない。甘かった。修行不足だった。

その後は、修行に修行を重ねて、どうにかこうにかやってきた。年数を重ねていくうちに、「経営3か条」ができてきた。「教育は人の心が決める」「ベクトルを合わせる」「教職員を幸せにする」の3つである。縁を生かすも思いやりもそうだが、根底にあるのは、“心”である。それでだろうか。この園長通信のタイトルを考えたときに、ココロが浮かんだ。「心」と「こころ」を比べた。ひらながの方がよいという結論に至った。

所信表明を先生方がどう受け止めたかはわからない。ワンペーパーのどこかに、何かしらのフレーズやワードに、心を動かしていただけたとしたらうれしい。最後に、「幼稚園に一番必要なのは（ ）」という問題を出した。先生方に書いてもらった。その後、お一人お一人に発表してもらった。こういった機会は、年間を通して、あるようで意外とない。私はというと、「笑顔」と書いた。子どもたちも先生方も笑顔であれば、様々な教育活動は、ある程度はうまくいっており、成果もついてくるのではないかと。一番の課題は、園長の笑顔である。

4つの校種で所信表明を行ったが、教育の根底に流れているものには変わりはないように思う。大切なことは、その長たる人物が、思いや願い、信念、方針などを、いかに語るかである。